



町長回誌 No.106

町長日誌の第106号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

8月22日(水) PM9:00

今日も昨日に続いて朝から30℃を超えた気温で、湿度も高いためか今年一番というぐらいの暑さです。8月に入ってからお盆が明けるまで雨が近く、湿度の高い空模様が続いていました。この間、二度ほど網走方面に出掛ける用事がありましたが、7月下旬から8月初めにかけては、秋まき小麦の収穫時期なのですが連日の降雨でコンバインの入れない畑も多く、刈り取りを待つ麦穂も真っ黒になっていました。畑作地帯の町長さんたちにお話を伺うと、収量は近年になく多いのですが品質が心配されると話していました。北見・斜網地区を中心に畑作地帯では「畑作三品」と言って小麦・砂糖ビート（てん菜）・澱原馬鈴薯（でんぷん用ジャガイモ）の輪作によって大きな生産を確保しています。この三品は国の生産補助や共済制度もしっかりしているため、私が農協青年部に所属していたころから「国際価格に対抗出来ない」、「三品以外の作物を作付しなければ！」と叫ばれてきたのですが、未だに農家の安定収入を支えています。しかし、TPPに日本が参加すると、これらの農産物は価格競争で対抗できないため壊滅の恐れがありますし、町の衰退にもつながるのです。現在の夕張市などの旧産炭地は、国策で生産を進め町もそれに伴い人口が増え発展しましたが、国が安い石油や輸入石炭に切り替えたため現在の状況になりました。また、釧路や紋別の港町もかつては遠洋漁業の基地として栄えましたが、これも国策により衰退が余儀なくされました。この様に過去の例を見ても一次産業は国の支援で成り立っているため、国の方針が変わると、その変化に対応出来なければ衰退の憂き目を見ることになるのです。終戦記念日を前後に韓国や中国などが領土問題などで日本に対して強硬姿勢を打ち出していますが、この背景には、日本の経済力の低下と中・韓両国の経済基盤が日本を頼らなくても良いほどになっていることが大きな要因だと思われます。これらの事は、「国レベルの事とだから」と思われがちですが、実は、じわりじわりと気が付けば経済の方向転換に時間のかかる地方が最大の被害をこうむると考えます。

7月28日(土)

紋別市を会場に、民主党主催の「地域政策懇談会」が開催されました。この懇談会は毎年開催されていて、西紋5市町村からそれぞれ今後の政策課題について要望や意見を聞く場です。現在、与党民主党の国会議員が不在になっているため、日下太郎道議を座長として主に道議会議員が出席され私たちの要望に回答をされていました。本町としては、沙留漁港改修計画・税金の申告制度・病院の診療報酬制度の3点について申し上げました。中でも懸案である沙留漁港の改修は「道段階では了承を得ていますので、後は国の来年度予算に組み込まれる様最大の努力をする」と日下道議から力強いお話がありました。

8月16日(木)

お盆ですが、紋別市で紋別空港に就航している東京直行便について西紋・遠紋の首長・議長が集まりANAの富田部長から説明を受けました。内容は、「今年も昨年同様に10月28日から3ヶ月間新千歳經由便としたい。その後は直行便に戻す。」と言うものでした。出席者からは、直行便を強く要望しましたがANAの意志は固く、議論は平行線となりました。結論として、翌週に会長である紋別市長が東京に出向きANA役員と会談し決定することを了承しました。しかし、ANAの富田部長は我々の意見を本社に持ち帰ることに難色を示し、その後も市長や空港関係者と協議を重ね、經由便期間を除く9ヶ月間で47,000人という搭乗者数の基準を示し、これを超えれば来年度以降通年直行便にすることを確約したため市長は、20日(月)に各町村を回り了解を取り付けANAに回答しました。しかし、来年度直行便を維持するためには、今年の8・9・10月と来年の2・3月で5,000人の上乗せが必要との試算もあり、かなり厳しい数字ですが直行便確保のためには越えなければならないハードルです。

さて、皆さんは今年のお盆どのように過ごされたでしょうか、私は大先輩である雄武の田原前町長の葬儀や飛行機の会議もあり慌ただしく過ごし休みはありませんでした。田原さんは、1年前に大動脈瘤が見つかり手術を行い回復されていたのですが大変残念なことで、心からご冥福をお祈り致します。

二学期が始まり、出勤時に子供たちの笑顔に遭遇できることは幸せな事です。農家の2番草収穫も一斉に始まり町長室にいてもエンジン音が聞こえます。これからの季節は疲れが出やすい季節ですので、体調管理や車の運転などに十分注意され、そろそろ出始める秋の味覚を楽しみましょう!! では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。